

人をつくり、  
時代を拓く。

輝ける未来を創造していくために。



福岡大学

FUKUOKA UNIVERSITY

# 社会と共に歩み、成長する。

## 魅力ある学校法人としてあり続けるために、 そして輝ける未来を創造していくために…

## 「大学アドミニストレーター」として挑戦し続ける。

### ■ 大学概要

学校法人福岡大学は、昭和9(1934)年の創立から平成26(2014)年に80周年を迎えました。以来、歴史と伝統を受け継ぎながら西日本有数の総合大学として、地域社会の中で大きな役割を果たしてきました。現在は福岡市の南西部に広大なキャンパス空間と病院を含む多くの建物施設群を擁し、9学部31学科と大学院10研究科34専攻、2万人を超える学生数を抱える地域の拠点大学となっています。教育・研究・医療の3つの高度機能を担う大学として、また「建学の精神」と「教育研究の理念」に基づく全人教育を通して、国と地域、国際社会を支える有為な人材の輩出に全力を傾注しています。

- 本部所在地 / 〒814-0180  
福岡市城南区七隈八丁目19番1号
- 事業内容 / 教育機関、研究機関、医療機関等の運営  
福岡大学、福岡大学病院、福岡大学筑紫病院  
附属大濠高等学校・中学校、附属若葉高等学校
- 創立 / 昭和9(1934)年
- 職員数 / 教職員数:4,122名  
(うち専任事務職員数431名)  
※2015年2月現在

建学の精神	教育研究の理念
思想 堅実	「人材教育」と「人間教育」の共存
穏健 中正	「学部教育」と「総合教育」の共存
質実 剛健	「地域性」と「国際性」の共存
積極 進取	

### ■ 福岡大学のあゆみ

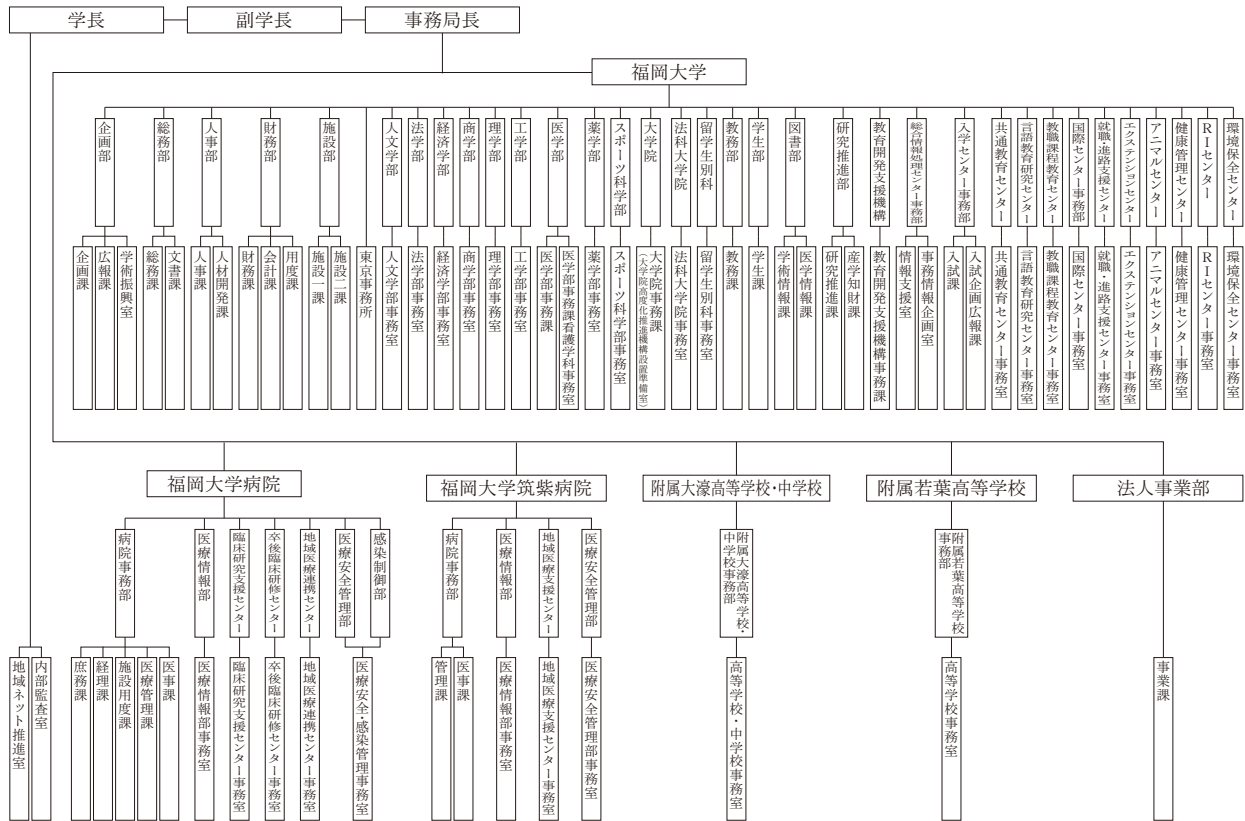
- 昭和9(1934)年 福岡高等商業学校を創立
- 昭和19(1944)年 九州専門学校を統合し、九州経済専門学校を設立
- 昭和21(1946)年 福岡経済専門学校と改称
- 昭和24(1949)年 福岡外事専門学校を統合し、福岡商科大学(商学部)を設立
- 昭和28(1953)年 商学部第二部を増設
- 昭和31(1956)年 福岡大学と改称し、法経学部を増設
- 昭和34(1959)年 法経学部を分離し、法学部および経済学部を増設
- 昭和35(1960)年 薬学部を増設
- 昭和37(1962)年 工学部を増設
- 昭和40(1965)年 大学院を設置
- 昭和44(1969)年 人文学部および体育学部を増設
- 昭和45(1970)年 理学部を増設
- 昭和47(1972)年 医学部を増設
- 昭和48(1973)年 福岡大学病院を開設
- 昭和60(1985)年 福岡大学筑紫病院を開設
- 平成10(1998)年 体育学部を改組し、スポーツ科学部を増設
- 平成16(2004)年 法科大学院を増設
- 平成24(2012)年 留学生別科を設置
- 平成26(2014)年 創立80周年

### ■ 福岡大学ビジョン2014-2023

福岡大学は、九州に位置する総合大学として地域との絆を大切にしつつ、時代や社会の要請に応じて教育・研究・医療の拠点として広く社会に貢献します。特に、次の4つを重点項目とします。

- 1 時代の要請や社会のニーズに対応した教育・研究・医療の提供
- 2 先進的で高度な研究活動の遂行
- 3 アジア諸国との関係を中心にして行うグローバル人材育成
- 4 福岡を中心とする地域の活性化と発展の促進

# 学校法人福岡大学事務組織略図 (2015年2月現在)



キャリアアップを支援する体系的な研修制度。  
あなたの「やる気」を全面的にバックアップします。

## 事務職員研修体系マップ

※WS型研修：ワークショップ型研修

研修区分	資格	書記		参事補		参事				
		課員 (5年未満)	課員 (5年以上)	課員	課長補佐	課員	主査	課長補佐	課長	部長
階層別研修	部(事務)長研修									●集合研修 ●WS型研修
	課(室)長研修									●集合研修 ●WS型研修
	課(室)長補佐研修				●集合研修 ●WS型研修			●集合研修 ●WS型研修		
	新任役職者研修				●集合研修 ●WS型研修			●集合研修 ●WS型研修		
	ベテラン職員研修 (採用15年以上)				●集合研修 ●WS型研修	●集合研修 ●WS型研修				
	中堅職員研修 (採用10年前後)		●集合研修	●WS型研修						
	若手職員研修 (採用5年前後)	●集合研修	●WS型研修	●集合研修	●WS型研修					
新規採用職員研修 (採用時)	●集合研修→ フォローアップ研修 ●WS型研修									
スキルアップ研修		①パソコン研修 ②クリーム対応研修 ③コーチング研修 ④カウンセリング研修 ⑤その他			●集合研修	●eラーニング研修	●WS型研修			
意識啓発研修		①人権啓発研修 ②ハラスメント研修 ③メンタルヘルス研修 ④その他			●集合研修	①福岡市企業同和問題推進協議会主催研修 ②③本学あるいは外部講師による研修				
派遣研修		①外部団体との人材交流 ②海外派遣研修				①私大連盟主催研修、私情協主催研修、その他各種団体等主催研修など ②海外大学等への派遣研修、その他				
自己啓発研修		職員が自主的に行う学習・研究				●大学行政管理学会・研究会参加、その他学会・研究会参加など ●大学院等の講義受講など ●外部団体開講講座受講など ●その他				
業務別研修	①各部署の業務内容の概略や今後の方針等を知る		※書記のみ		●集合研修					
	②各業務の専門的な内容について				●OJT ●部署によっては外部研修 ●必要に応じて集合研修					

## 学校法人福岡大学事務職員(行政職)を 志望されるみなさんへ

現在、社会を取り巻く環境は少子高齢化の進行や地域コミュニティの衰退、グローバル化によるポータリティ化、新興国の台頭による競争激化等により、大きく変化しています。こうした環境の変化は、安定的な大学運営を行っていく上で脅威となりえます。このような状況下で、学校法人福岡大学が教育・研究・医療といった分野において「建学の精神」に基づく自身の使命を果たし、社会の発展に貢献していくためには、法人自身も発展していける運営基盤を作り上げることが必要です。そのためには、時代を切り拓く新たな取り組みに挑むことが必要となってくるでしょう。例えば、社会の変革を担う人材育成、知的基盤の形成やイノベーションの創出、日本国内だけでなく世界レベルでの競争に勝ち残るだけの独自性のアピール、地域のコミュニケーションの核となりうる生涯学習・高大連携教育の支援といったものがあげられます。また同時に、普段行っている様々な業務についても、これまで以上の高い水準を実現するために、適切に業務改善を推し進めていく必要があります。

こうした背景のもと、本法人の事務職員には教育職員の頼れるパートナーとして、より高度な業務を遂行していくことが期待されています。つまり教育職員の補佐としての役割だけではなく、「\*大学アドミニストレーター」としての役割が求められています。

本学では、今後の活動指針として「福岡大学ビジョン2014-2023」を策定し、グローバル化と価値観の多様化が進展する時代の中で、与えられた社会的使命を全うすべく、進むべき方向性を示した4つの重点項目を定めました。この指針を踏まえ、これからの大学運営、法人運営を担う行政職として、本法人の事務職員を志す方には以下のような人材を求めます。

- ◆ 何事にも誠実に、積極的に取り組むことができる人
- ◆ 教職協働を理解し、既成概念にとらわれず多角的視点から業務を遂行できる人
- ◆ 自分自身の成長や業務改善のために、困難な仕事でも前向きに挑戦できる人
- ◆ 幅広い視野をもち、法人内外の様々な立場の人とコミュニケーションをとれる人
- ◆ 本法人の発展と地域社会の活性化のために貢献できる人



私たちと共に改革に取り組み、様々な課題に挑戦していける個性豊かな多くの仲間と出会えることを期待しています。

\*大学アドミニストレーター

大学の管理運営に携わる上級職員のこと。アメリカでは、総務部長や財務部長など事務系管理職のほか、学長をトップに副学長や学部長などもアドミニストレーターと呼ぶのが一般的であるが、わが国では主として事務系管理職およびこれらを支援する立場の事務職員を指して使うのが一般的である。近年大学を巡る諸環境が変化の中で、教授会・評議会を主軸にした教員中心の意思決定システムの限界が認識されるようになり、学長・副学長や部局長を支える事務系スタッフの役割を重視しようとする動きがある。また、その役割を果たすためには、職員の資質を高め、かつ彼らの学内での位置づけを正當に評価しなければならないという意見が強まっている。SD(スタッフ・ディベロップメント)はこれらの動きの反映でもある。アドミニストレーターはSDなどを経て育成された意欲と能力のある事務系職員のことであり、今後の大学改革の中で大きな役割を果たすことが期待されている。

『平成20年12月24日中央教育審議会～学士課程教育の構築に向けて(答申)～用語解説より抜粋』

# 体験、発見、そしてチャレンジ—— 私たちの可能性は一つじゃない。

学校法人福岡大学には2万人の学生数を誇る福岡大学をはじめ、  
大学病院、附属高等学校・中学校があり、事務職員はそれぞれの部署で  
自信と誇りを持って仕事に取り組んでいます。  
変化に富んだ体験は新たな自分を発見するチャンスとなり、  
ひいてはチャレンジ精神となって職員一人ひとりの可能性を広げています。  
先輩たちが語る仕事の魅力、やりがい、先輩たちの成長ぶりなどから  
学校法人福岡大学で働くことの意義や喜びを探ってください。



教育開発支援機構事務課  
課長補佐  
今泉 康代  
(平成6年入職)

## 常に立ち止まることなく前進したい。 そんな思いを実現できる職場。

教育開発支援機構では主に、①全学的な教育の開発や教員研修及びセミナーなどの企画・立案を行う「教育FD支援室」、②学生の主体的な学びを実現するための「教育学修支援室」、③学生・教育職員・事務職員が平等な立場で、自由に楽しく話し合い、教育に関するそれぞれの体験や知識、疑問や問題意識を広く掘り起こし、考えるための「教育サロン」——の3つが機能しています。“教育”という視点で自らの経験や知識を生かし、高い目標に向かってチャレンジできる環境は職員を大きく成長させてくれます。また、産前産後休暇などの制度が整っている福岡大学は、女性にとって非常に働きやすく、活躍できる職場です。私も入職以来、子育てをしながら仕事をしてきましたが、常に立ち止まることなく前進することができました。これからも、次代を担う2万人の学生たちの可能性を引き出し、地域に必要とされる人材を世に送り出すことができるよう、教職員とともに全力を尽くしていきたいと思っております。

**VOICE** ✨ 学生、大学、地域のために考え、社会的責任としての  
人材育成に情熱をもって打ち込める人に期待しています。



## 学生とともに自身も成長。 毎日の中に大きな経験、喜びや感動、そして働きがい。

学生課では学生の課外活動、厚生補導、生活相談、奨学金や学生寮、ボランティア、保険関連をはじめ、学生間のトラブル、事件事故の対策及び予防など、学生生活に関するあらゆることに対応しています。日々学生と向き合い、時には突発的な事件事故のため昼夜を問わず現場に向かうなど、奔走していますが、前部署である病院勤務の経験をもとに、どんな場面でも学生の視点に立ち、冷静かつ臨機応変に対応するよう心掛けています。福大生は卒業後も繋がりが深く、例えば部活動の全国大会には、各地から多くのOB・OGが応援にかけつけてくれます。また、ボランティア活動を通して地域の方々とも触れ合う機会があるなど、様々な人との出会いの中でコミュニケーションを広げています。そんな毎日が私自身に大きな経験、喜びや深い感動を与え成長させ、働きがいにつながっていることは言うまでもありません。



**VOICE** ✨ 現場ではあらゆる視点に立って臨機応変に対応できる、即戦力の人材が求められています。福岡大学で自らの可能性を広げてください。



学生部学生課  
課長補佐  
野田 堅三  
(平成9年入職)

## 異動を通して様々な経験ができ、 新たな自分を発見できるのが魅力。

入職後、福岡大学の総合情報処理センターから福岡大学病院の医療情報部を経て現在に至りますが、私はどの部署においても主に情報システム関係の業務を担当しています。当初はイメージしていた大学職員の仕事と大きく違うことや、情報処理関係の知識不足で戸惑うこともありましたが、しかし、先輩職員の方に指導していただきながら「その時にできることは全力で取り組む」ことで不安を自信に変えることができました。異動するとまるで転職したかのように業務内容が大きく変化しますが、「何事も経験」と思い積極的に辛抱強く取り組むことが大切だと思います。異なる環境に身を置くことができるのも福岡大学という大規模な組織だからこそ。

各部署でさまざまな業務を経験でき、新たな自分を発見できることはとても魅力的です。今後も福岡大学図書館が学生の学習活動や教育職員の教育・研究活動に役立つよう、「今、自分にできることは何か」を考え、取り組んでいきたいと思っています。



**VOICE** ✨ 就職はゴールではなく、スタートです。常に向上心を持って努力し、人間としての成長を目指してください。



図書館学術情報課  
櫻木 慶子  
(平成17年入職)

## 挑戦し続けることのできるフィールドがここにはある。

学生時代のゼミで大学ブランディング戦略を学び、大学の理念である「建学の精神」に込められた意味や想いを形にし社会へ伝えることの面白さに魅かれ、さらに大きなフィールドで挑戦したいと考えたのが入職のきっかけでした。産学知財課では、本学の研究の魅力を地域や企業といった社会に発信し、価値を感じてもらうことで、研究の発展と社会貢献を目指しています。日々の業務では、企業や社会のニーズと学内の研究とのマッチングに向けて、企業から技術相談を受けたり、学外でのイベントに研究テーマを出展する等様々な支援を行っています。研究者や専門コーディネーター、そして企業等との関わり合いの中であらゆる角度からの支援、環境づくりが必要なため、常に社会の変化に目を向け、研究者にとって有益な情報を提供できるよう心掛けています。社会が本学に求めていることは何なのか、研究者にとって価値のある支援が本当にできているのか、自問自答の毎日ですが、世の中における「大学」の役割に無限の可能性を感じ、その可能性を形にしたいという強い想いがモチベーションとなっています。大学も存在意義を問われ、生き残りをかけて戦う時代。逆境を恐れず挑戦する精神で、福岡大学と共に大きく成長したいと思っています。



研究推進部産学知財課  
國本 晶平  
(平成23年入職)

**VOICE** ✨ 福岡大学100周年に向け、魅力溢れる大学づくりと一緒にしてみませんか？みなさんにお会いできる日を楽しみにしています。



## 得意な英語を生かせる仕事に満足。 志のある学生を応援できるのが嬉しい。

福岡大学の学生と海外から来る学生に対して、交換留学に関する手続きや生活面でのサポートをしています。大学生の中でも特に志をもって留学する人たちを応援できるので、とてもやりがいがあります。「福岡大学のおかげで〇〇に就職できました」と言ってもらえたり、母国に帰った学生が遊びに来て近況報告してくれた時などは、この仕事をしていて本当に良かったと思います。実は、私も大学時代ニュージーランドに留学していたので、英語を生かすことのできる今の仕事に就けたことはとても幸運だったと思っています。例えば、海外の協定校とメールでやりとりする時は英語を使いますし、日本語が不得意な留学生とも共通語である英語で会話をしています。先生、学生、保護者、協定校の方など、普段から多くの人と接することで私自身も視野が広がり、協調性も育むことができました。この恵まれた職場環境に感謝しています。



**VOICE** ✨ 法人内には66もの部署があり、いろいろな仕事を経験できるので、人間的に大きくなりたい人にはおすすめです。



国際センター事務室  
有吉 早苗  
(平成20年入職)

## 常に上昇志向。 信頼される事務職員として、さらに高みを目指す。

新薬ができる前の治験に関わる仕事をしています。製薬会社から治験の依頼があった時に、医師や薬剤師、治験コーディネーターなどの医療スタッフと協力しながら、その治験が円滑に実施できるよう調整するのが私の役割です。また、契約の際には法律から逸脱しないよう、保管文書や実施内容をきちんと確認することも重要な仕事です。海外の製薬会社からはグローバル基準での対応を求められることもあるだけに日々の業務は決して容易ではありませんが、実際にそれらが新薬となり市販され、治療法のない病気に苦しむ患者さんを救うことに繋がるため、この仕事には魅力とやりがいを感じています。私が日ごろから意識しているのは常に周囲のスタッフとコミュニケーションをとること。大学病院では患者さんの命を守るために医師や看護師をはじめとする医療スタッフや事務職員も含めた全員の迅速な対応が要求されます。緊張の走る医療現場では、私たち事務職員にもスピードと正確さに加えチームワークと決断力が求められるのです。患者さんへの対応は「笑顔で丁寧」、そして医療スタッフからは「治験事務のスペシャリスト」として信頼される事務職員でありたいと思っています。



**VOICE** 大学病院での仕事は地域貢献と社会的使命に応えることができます。ガッツのある人、お待ちしております!!



福岡大学病院臨床研究支援センター事務室

杉山 達信

(平成17年入職)



福岡大学筑紫病院医事課

古賀 浩大

(平成21年入職)

## めまぐるしく変化する環境の中で、 母校、そして地域への貢献にやりがいを感じて…。

私は本学のスポーツ科学部出身です。在学中にはバスケットボール部に所属し、不屈の精神で何事も最後まで諦めずやり遂げることの大切さを学びました。部を支援して下さる職員やOB諸先輩方の“熱い想い”を目の当たりにするうちに、自然と母校のためにできることはないだろうかと考えはじめ、本学の事務職員を志望しました。入職以来、福岡大学筑紫病院の医事課に所属しており、主に外来・入院診療費の会計といった保険請求業務を担当しています。もちろん、医療事務の知識はゼロからのスタートで、入職してから学びました。常に医師などとやりとりをしながら料金算定を行うため、めまぐるしく変化する医療情勢に対応できる知識が要求されます。日々の勉強が不可欠で大変ですが、病院の収益に直結する責任ある仕事なのでやりがいがあります。今後は、法人内で大きな割合を占める病院の収益増のための計画・実行はもとより、質の高い医療サービスを提供する地域医療支援病院のスタッフとして、母校の発展に貢献していきたいです。

**VOICE** 学校法人福岡大学をどう良くしていくか。現状に問題点を見出し、その解決策を考え行動できる方、是非共に頑張りましょう!



## “積極進取”の精神で、刺激ある毎日に。 人と人とをつなぐ懸け橋になりたい。

私たちは平成26年入職の同期です。入職直後は、なかなかうまくいかない状況に戸惑ったり、悩んだり、空回りしたり、時には冷や汗をかくこともありました。そんなとき、上司や先輩方にかけていただいた厳しいながらも愛情こもったアドバイスや励ましの言葉一つひとつが私たちの心の支えとなり、後押ししていただいた事もしばしばです。福岡大学は『人をつくり、時代を拓く。』のスローガンのもと「人との関わり、人とのつながり」を大切にする組織風土があります。私たちの勤務地は附属高校・中学ですので、生徒や保護者をはじめ、日々ご支援いただいている方々とのつながり、関係性はもちろん大切にしていますが、職員の中でも先生方とのつながりや、大学・附属病院などに勤務する事務職員の先輩方との交流もあります。法人内外のいろいろな方とコミュニケーションをとり、情報交換を行うことが、自分自身の視野を広げ、仕事においても主体的、積極的な取り組みに結びつく実感しています。今後も様々なことにチャレンジしながら人間的に成長していきたいです。

**VOICE** 困難な状況下でも、前向きな姿勢で取り組むことが大切だと思います。自分をよく見つめ直し、志を持って挑んでください。



附属大濠高等学校・中学校事務室

大坂谷 貴史(左) 廣木 摩理勢(右)

(平成26年入職)

(平成26年入職)

# 福岡大学

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
福岡大学人事部人事課

TEL: 092-871-6631(代) 内線:2145・2146

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/>

採用情報はこちら

